



萩市須佐地域

公民館だより

令和6年

4月

第609号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

けん玉のゲームに盛り上がる！ 結ちゃんのけん玉教室



のびのび教室（須佐文化センター）

～詳細は3ページ～

紙面をリニューアル!! 元気な須佐地域をめざして・・・

少子・高齢・過疎化という大きな課題を背負い、地域の公民館としてどのように接すれば良いかをテーマとして、今回紙面の一部をリニューアルしました。

メジャーリーグの大谷翔平選手の言葉を借りると「（野球界が）みんな同じ方向に向かないと（野球界）全体の改革はできない」。今こそ地域の大きな課題解決のためには、住民や地域・行政・団体などがみんな同じ方向に向かないと何の解決にもならないと考えます。

そのためには、公民館は今何ができるかを考えました。よく昔は良かったという言葉が最近聞きます。だったら昔のことをもう一度思い出していくのも手段かなと思い「40年前を振り返るコーナー」や、今からの須佐を支える「定住者のコーナー」、人口が少なくなったとはいえ、新たな命が芽生える「我が家のアイドルコーナー」（広報すさから）の復活など、少しずつ皆さんが元気になる紙面づくりに挑戦してみようと考えています。

また、今後も新たなコーナーの設置なども随時考えてみたいと思いますので、引き続き皆様方の忌憚のないご意見を公民館まで届けて頂き、「みんなで元気なまちが創れたら」と考えています。どうぞ、今年度もよろしくお願いいたします。



スポーツで心も体もリフレッシュ！



寒暖差が続く初春、須佐地区、弥富地区でそれぞれ、令和5年度最後のスポーツ大会が開催されました。

グラウンドに響く笑い声！

須佐地区エンジョイ
グラウンドゴルフ大会

3月3日（日）のひな祭りの日、育英小学校のグラウンドに40名が集まり、グラウンドゴルフ大会が行われました。

試合は、5人ごと8組に分かれ、8ホールを2回まわり、総合打数の一番低い人が優勝となりました。



まずはスイングの練習…次が本番！



最後の1打、「入るかな～」

1回目の開始前から、雨が少し降っていましたが、プレーしているうちに雨も止み、皆さんおしゃべりしながら楽しそうにプレーしていました。初めてグラウンドゴルフをされる方もいましたが、何回か回るうちにコツも覚えて、とても上手になっていました。また、ホールインワンも5名出るなど、久しぶりに盛り上がった大会となりました。子どもの参加がなかったことは残念でしたが、令和6年度は、積極的な参加を期待します。皆さんお疲れ様でした。

【大会結果】

優勝 宮内岩男（中津）
準優勝 伊藤正久（中畑）
3位 弥重南椰子（河原丁）

スーパープレーの連続！

ソフトバレーボール弥富大会

例年のスポーツ行事の最後を飾るソフトバレーボール弥富大会が3月17日（日）、弥富体育館を会場に開催され、佐々並から1チーム、田万川から6チーム、須佐から1チーム、弥富から1チームの計9チームが参加し盛会に行われました。

開会式の終了後、抽選会を行い、9チームをA・Bの2コート（5チームと4チーム）に分け、各コートの1位同士で決勝戦を行い、2位チーム同士で3位決定戦を行いました。



熱戦が繰り広げられた試合！

参加された皆さんは、日頃の練習の成果を十二分に発揮され、アタックやブロックのスーパープレーを積み重ね得点されていました。応援される方々も手に汗握るゲームに声を張り上げておられました。令和5年度は、遠く佐々並からいろんな地域の皆さんが参加してください、大会を盛り上げて頂きました。皆さん、本当に有難うございました。令和6年度も、多くの参加をお待ちしております。

【大会結果】

優勝 江崎SVC（A）
（6連覇）
準優勝 江崎SVC（B）
3位 DL+（田万川）



上手くレシーブできたかな…？

公民館学級



日本一の達人 結(ゆい)ちゃんに学ぶ!

のびのび「けん玉教室」

3月9日(日)、須佐文化センターで、中学2年生になる萩の中村結さん親子を招き、けん玉の指導をしていただきました。

結さんは、一昨年「全日本少年少女けん玉道選手権大会」の女子の部で日本一に輝きました。そんなけん玉の達人結さんに教えて頂くのも、今年で5回目となります。

今回は、最初にパフォーマンスを披露していただき、その後、認定試験の大皿から順番に、技のコツや剣の持ち方などを集中的に学び、できるまで何度も練習して、次の段階へと進んでいきました。



剣先に玉を入れるコツを学ぶ子ども達

練習の合間には、ゲームも行いました(表紙写真)。中皿に載せた玉同士をぶつけ合い、最後まで落ちずに残った人が勝ちです。子どもより、大人の方が本気になっていました。

最後は、バランス感覚のいい小学生が勝ち、中村さんから景品のけん玉を頂いて、とても喜んでいました。

今回、最高齢97歳の仁保逸朗さん(山根丁東)も参加され、皆さんと同じように、いろんな技に挑戦されていました。仁保さんは「続けてやってみる」と宣言され、今回自分用のけん玉を入手されていました。



「飛行機」の技を練習する仁保さん

いよいよ認定試験。前回級をとられている方も、毎回全員10級の大皿から始めています。

今回は、小学3年生の工藤零(しずく)さんが5級で最高でした。工藤さんは、前回も5級をとられており、進級には至りませんでした。それでも満足げな笑顔でした。次回も、夏休みに予定しています。

モールで花束作り

須佐あおば勉強室

2月20日(火)、須佐公民館でモールを使ったチューリップの花束を作りました。材料は、モールとはさみ、セロハンテープ、クラフトテープ、ラッピング用のビニールや和紙(または包装紙)があれば、誰でも簡単にできます。

まずは、1本のモールでチューリップの花の花びら6枚を1枚ずつ作ります。その後、緑系で葉っぱを作ります。そして、芯となる手芸用の針金にクラフトテープを巻きながら、花びらと葉っぱを付けければ、チューリップの完成です。

参加者は、最初の花びら作りから苦戦しており、「ああでもない、こ



クラフトテープを上手に巻いていく参加者

うでもない」と何度も何度もやり直しながらやつの思いで作られていました。

チューリップを好きな色で7、8本出来上がったなら、今度はラッピングです。ラッピングは、いろんなやり方があるので、材料さえあれば、自分のしたいようにラッピングすればいいと思います。また、材料も出し弁当

の持ち帰り用の、透明で花柄のついたシートなど、きれいなものが身近にあればそれを利用してもいいと思います。

チューリップ作りで時間をとってしまった参加者も

いましたが、なんとか全員、花束を作ることができ、最後にみんな花束をもって記念写真を撮りました。

いろんな物作りをしながら、自分好みのものを趣味として持つのもいいのではないのでしょうか?



花束を手に記念写真!「ハイチューリップ!」

「弥富龍神太鼓」を体験！

弥富放課後

子ども教室

2月21日（水）、弥富地区に伝わる龍神伝説にちなんだ創作太鼓「弥富龍神太鼓」を、弥富龍神太鼓の皆さんの指導の下、子ども達が体験することができました。

弥富龍神太鼓は、地域に根ざした活動をおこなう事を目的に、平成22年4月に結成され、地域のイベント等で演奏を披露されており、現在、弥富地区の小学生2名と中学生1名も参加しています。

はじめに自己紹介をした後、イベントで披露されている「きずな」を練習しました。最初は、太鼓の音がバラバラでどうなることかと不安でしたが、個別レッスンをしていたら、30分ほどで、みんなの太鼓の音も心も一つになり、曲の半分が演奏できるようになりました。

その後、ペープサート（紙人形劇）「浦島太郎」を行いました。配役をそれぞれ伝えられ、台本をもらいましたが、セリフの多い子は台本から目を離さず、セリフを追っていました。セリフの少ない



太鼓の音を合わせるのってむずかしい...

い子はじつとしていいることができず、魚や竜宮城の紙人形を持って走り回っていました。

子ども達に今回の感想を聞くと、「楽しい！」「太鼓の音は身体に響くね」「間違えて叩いてしまった！」など話していました。

地域の伝統文化を体験し、伝えていく機会を今後も続けていきたいと思っています。

ご指導いただいた弥富龍神太鼓の皆さん、ありがとうございました。

廃油石けん作ったよ！

弥富物作り教室

3月15日（金）は、廃油を使った石けん作りを行いました。講師はお馴染み、齋藤洋子さん（9区）で、13名の参加がありました。

作り方の説明を聞いた後、ゴム手袋を装着して、早速作っていききました。少量の廃油でもできるように、ペットボトルを使用しました。苛性ソーダを溶かす作業では、ペットボトルの種類によっては、熱さで変形するものもあり、「ちょっと怖いね」と恐る恐る作業する場面もありました。



廃油で節約しましょう！

また、廃油を入れてもったたりするまでペットボトルを振るのに30分以上もかかり、「ええ運動になるね」など楽しくおしゃべりしながら作っていました。「靴下などもみ洗いうる物に使ってね」と使い方も教えていただき、皆さん使うのを楽しみにされていました。

最後の学級に盛り上がる

弥富さつき学級

3月18日（月）須佐支部老連の皆さんと「室内グラウンドゴルフ」を行いました。参加者は26名。須佐地区からの参加者もあり、交流を深めながら令和5年度最後の学級を大いに楽しみました。

ゲームは、皆さん一打一打集中して打たれ、「頑張つてね」など声を掛け合い、笑い声が館内に響くなど、大変盛り上がりつつあるチームもあれば、ホールインワンを逃して悔しがる場面も見られました。

ゲーム終了後、グラウンドゴルフの表彰式と令和5年度の閉講式が行われ、6回全て参加された方に皆勤賞が贈られました。ご参加をいただいた皆さん、ありがとうございました。

【グラウンドゴルフの結果】

優勝 波田富男さん（13区）
準優勝 日田知信さん（12区）
3位 宇野恵美子さん（5区）

【令和5年度 皆勤賞】

鈴木ミツヨさん（8区）

地域トピックス



卒園・卒業

おめでとう!

3月に入り、須佐地域の保育園、小・中学校では、それぞれ卒園・卒業式を迎え、思い出のいっぱい詰まった園舎・校舎を後にしました。

須佐保育園



3月9日(土) 須佐保育園卒園式が行われました。あいにくの雨。そして、とても寒い日となりました。



保護者と一緒に保育園での最後の記念写真

しかし、子どもたちの保育証書授与、思い出の言葉や歌など、堂々とした姿に、会場はあつたかい雰囲気にも包まれました。7名の卒園児の皆さんを保護者、職員一同、笑顔で見送りました。

育英小学校

卒業おめでとう
中学校でさらなる活躍を



3月19日
(火)に「第77回卒業証書授与式」を行いました。

14名の卒業生は、立派に卒業証書を受け取り、堂々と将来の夢を述べました。お別れの言葉では、小学校生活の思い出や在校生への思い、保護者や地域の方々、教職員への感謝の気持ちを伝えました。



卒業式後の教室で、最後の記念撮影

地域の方に生けていただいた生花や多くの祝文に励まされ、卒業生は晴れ晴れとした顔で育英小学校を巣立っていきました。これから新たなステージに踏み出す卒業生に、引き

続き温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

須佐中学校



3月8日、須佐中学校を十一名の卒業生がそれぞれの夢と希望を胸に旅立ちました。

卒業生との一番の思い出は「魅力再発見プロジェクト」で取り組んだエコバッグの制作と販売活動です。

須佐PRカンパニーを立ち上げ、保護者や地域の方の協力を得ながら、須佐の魅力をたくさんの方に発信することができました。

これからの社会は人口減少と高齢化、地球環境問題、AIの進歩等により、これまで以上に予測困難な時代となることでしょう。そんな時代を生き抜くためには周囲の情報を正しく選択して自分の考えをもつ能力



卒業証書を受け取る直前の緊迫感...

とともに、人とのコミュニケーションによって様々な価値観を獲得し、取捨選択していく能力が必要とされています。それと同じように、揺るぎない自分の信念、心のよりどころをもつことも大事です。これが「不易と流行」です。



答辞を読み上げる卒業生

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、変化を重ねていく新しいものを取り入れていくことがこれから生きる皆さんには大切で、これまでにない困難を新しい考え方や発想、団結力で乗り越えてきた皆さんは須佐中学校の誇りです。たくましく、そして、しなやかに、自らの人生を切り拓いてください。皆さんの未来に幸多からんことをお祈りしています。

(記事・写真は

保育園・学校から提供)

子育て支援日記 「テーマ／私の子育て」

子育てはひとりではない

浦西 澄岡 美香代



令和6年度は、これまで皆さんが子育てをしてきた中での思いを語っていただき、若い世代の皆さんの子育てへのヒントになればと思います。今回は、私が聞き取りという形で、直接本人に話を伺いました。

それでは早速ですが、家族構成から教えてください。

澄岡 今は、夫と子ども2人（姉妹）と長女の子ども3人の7人家族です。私が子育て中の頃は、おじいちゃんがいきました。

子どもさんは何年生まれですか。

澄岡 長女は平成6年7月、次女は平成9年6月生まれです。

長女の時は、3日間も陣痛があり、生まれる前は病院の階段を、1階から6階まで助産師さんと3往復もしたんですが、次女は早くて、陣痛がきてからすぐに車で病院へ行ったのですが、車の中で生まれそうになりました（笑）

仕事はされていたのですか？

また、子どもが小さい頃、大変だったことはありませんか？

澄岡 予定日の2週間前まで歯科で仕事をしていましたが退職し、その後は、次女が保育園へ行くまでは専業主婦をしていました。

なので、赤ちゃんのことはほとんど自分でしていました。お風呂は夫が時々手伝ってくれていました。大変！

ということはなかったけれど、泣けば、近所のおばちゃん心配し、見に来てくれることも多々ありました。

他に困ったことはなかったですか？

澄岡 長女が食が細かったことです。普通の子がどのくらい食べるのか分からなかったもので、普段一緒に遊んでいる、同い年の子と我が家で行ったり来たりしながら、並んで一緒に食べさせていました。



保育園へ行きだしてからは、食べるようになりましたね。

子育てに関して、ご主人の役割はどうでしたか？

澄岡 しつけについては、とても厳しかったです。例えば、箸の持ち方や食事をするときの姿勢など。でも、よく遊んでもくれていました。

おじいちゃんも子育てに関わりをもたれていたのですか？

澄岡 はい、私が次女を生んでからまた仕事へ復帰し、主人と共働きでしたので、おじいちゃんはその頃漁師で、仕事から戻ると、毎日のように保育園まで歩いて迎えに行っていました。

私は年子の兄弟で、けんかも絶えなかったのですが、澄岡さんの子どもさんは姉妹ということですが、けんかもあったのですか？

澄岡 長女はオムツ外しも自分でしたくらいの頑張り屋でこだわりも強い子でしたが、夫が長女に厳しかったせいか感情表現が苦手な子でした。

次女は天真爛漫（てんしんらんまん）でよく笑う子でしたので、そういった無邪気な次女と比べて、長女は優等生っぽいところがあり、大人になっても少し距離がありました。

大人になって今では、会話も少しずつ増えて、次女も長女の子育てを協力しています。

それは良かったですね。

澄岡さんも仕事のやりがいがありますね。

澄岡 私も、仕事をしながら孫の子育てにも協力しています。

昔と今の子育てで、何か思うことはありますか？

澄岡 昔は、ご近所さんにちょっとした相談や、困ったときには助けをもらっていたりと、いろんな人と関わりをもっていたけれど、今では、ご近所さんも減ってきて、だんだん周りとの関わりも少なくなり、1人で悩んでしまう親御さんもいるのではないのでしょうか。

普段から周りの人とながりを持つことで、困ったときに気軽に相談ができ、1人で悩むことも少なくなるのではないのでしょうか。

周りを巻き込んで、周りは巻き込まれに行つて、子育ては1人ではないから、助けてくれる人たちと一緒に、子育てを楽しんでいきましょ！

人とながりを持つことは、なかなか勇気のいることですが、大事なことだと思います。公民館行事などにも気軽に参加してもらえればと思います。

本日は、お忙しいところ、大変ありがとうございました。





コーナーの投稿募集！

地域を元気にするコーナーとして、須佐地域に移住された皆さんから色々お話を聞き、地域を元気にする素材を提供して頂きたいと思っています。

とかく「灯台下暗し」ということわざがあるように、「人は身近なことには案外気付かない」ことがよくあるものです。須佐の魅力は、外部から見ると、「こんな財産があるのに発信しないのはもったいない」と言われます。「知ってること」が「案外知らないこと」がよくあります。このコーナーでは、移住された皆さんから、こんな須佐の面白さ、美味しいものや文化など、自由に語ってもらえば須佐の元気の発信に出来るのではと思います。只今、このコーナーに登場していただく皆さんを募集しています。是非移住者の方のご意見を頂ければ助かります。なお、どうしても匿名で参加したいなどの希望も受け付けていますので詳しくは須佐公民館 ☎ 6-2310 までお問合せ下さい。

須佐婦人会総会開催

3月24日（日）、須佐保健センターで、令和5年度の総会が行われ、多くの婦人会員が参加し、令和5年度事業の報告・決算報告、また、令和6年度の事業（案）・予算（案）の審議を行い、全員一致で可決しました。

新役員さんも決まり、新規事業も皆さんの協力なしではできないと、田村光子会長さんが挨拶されていました。総会の後、アトラクションとして、萩と長門に住んでおられる3人組の「音空流（オンクル）」のメンバーによるオカリナ演奏が披露され、演奏に合わせて手拍子や歌詞を口ずさむなど、一緒に楽しみました。



R5事業報告では、役員さんが面白おかしく報告



海弥ちゃん：3才
(うみ)

4人兄妹の3番目と4番目です。

お兄ちゃん、お姉ちゃんをよく見て育っているの、しっかり者の2人!!! 兄妹仲良く、のびのび育てておくれー!

～母：川口朋子さん（入江）より～



我が家のアイドル



優海ちゃん：0才11ヶ月
(ゆうか)





旧須佐町中央公民館

24 時間図書館開館の反響

図書館開館翌日から、24時間図書館の問い合わせは、県内のみならず全国の自治体や個人から寄せられ、図書館・公民館職員は、その対応に苦慮する日々が続きました。

一挙に脚光を浴びる須佐町、24時間図書館が須佐町の代名詞ともいえる日がやってきました。

本町筋は、視察の中型バスが行き交い、バスの駐車場は、松崎八幡宮前の道路脇となっていました。視察団体の数も、多い日には4団体となり一日中、図書館の現地説明と図書館経緯の説明を中央公民館で行っていました。今に思えば、あの時視察代金を取っておけば、図書の数百冊は買うことが出来ていたのだろうと思いましたが、後の祭り残念です。とにかく視察、取材はこの後も続き、須佐町をPRするには絶好の切っ掛けとなっていました。



須佐町中央公民館で図書概要を説明

須佐図書館を認めない人達

24時間図書館の話題は、今や全国にまで行き届いた、NHKをはじめとするマスコミの力の凄さにあらためて脱帽したところです。しかし、図書館開館前から、24時間図書館など

といった遊びごとみたいな図書館は図書館ではないとの話は薄々聞いてはいましたが、開館から1週間後県内の民放テレビで、今後の図書館という話題で、須佐図書館を中心に編集された映像が放映されました。

その中で、心配していた須佐図書館を図書館として認めないとの意見を堂々と発言する、山口県図書館協議会Y会長、Y氏は県内でも利用率の高いS図書館の館長でもありました。須佐図書館の開館を喜ぶ町民を敵に回すような発言、結局蔵書数も少なく、まともな図書館ではないような意味の発言をされていました。

山口県立図書館も何となしに、会長の意を受けてか須佐図書館に対しては少し冷たい態度であったような気もしていました。

その後、適度な間隔で須佐図書館が、マスコミに登場するようになり、その内に須佐図書館の貸し出し数などの実績も公表されるようになり、実績がある以上しかたないと踏んだのか、興味本位なのか山口県図書館協議会が、その年の秋には視察で来館されました。まさに、あの時テレビで批判していたY氏の顔も確認。

視察では、最初に、金子みすゞの詩を引用し、「世の中には色々な図書館

があってもいい、みんな違って、みんな良い・・・」と当館のありのままの状況を説明しました。まずは県図書館協議会が須佐図書館に振り向いてくれたことに感謝です。



図書館外観と24時間開館のしくみを説明

また、この視察の途中、面白いことが起こりました。それは、Y会長ともう一人の方が視察途中、今度県図書館協議会の総会が開催されるので、是非その時前座として、須佐図書館を紹介してくれないかとの話でした。こうして、一つ一つ実績を積み重ねるを得ないとの敗北宣言のようにも聞こえたお誘いでした。



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。

今回は、少し趣を変えて、須佐の高山に鎮座する、古来から伝わる「行者様」について、ご紹介させて頂きます。

高山の嶺北端の地に鎮座する

「行者様」の社

日本海に突出して、そびえる、標高532.8mは、かつてその昔から神霊の山と呼ばれていました。

また、一方では、地質学の宝庫の山とも言われています。この高山の頂上には、国指定天然記念物「磁石岩」が転在しています。と同時に、通信基地とも言えるほどでNHK・民間テレビ塔やラジオの中継局舎をはじめ、国土交通省の無線塔等大小様々な、電波通信施設が幾つも立ち並んでいます。

その高山の山頂から、市道高山線

を下るこ

と約1km

位の道路

沿いに、

コンクリ

ート造り

の(株)中

国電力の

電波中継

局舎があ

り、その

向い側に

ある雑木

の枝にあ

るピンク色の測量テープが目に入ります。

この地点から、山道に入り落葉を踏みしめつつ、北東に連なるアップダウンの山の尾根道を約1.5km位進むと、左側に雑木の木立ちの切れ間があり、そこから蒼く広い日本海と、白く輝く沖浦岬灯台の眩しい姿を見ることが出来ます。

その絶景を眺めながら更に進み、地面に横たわり倒壊した石鳥居の残骸や苔むした石垣積の跡を見ながら進むと、「行者様」と称される参道に入り、目前に館が建つてることを確認できます。



巨大な岩石が積み重なる

洞窟の館

高山の標高概ね500m位に位置する、この洞窟は、巨大なはんれい岩が平たく屋根型に堆積して出来たと推測されますが、自然の力で造形されたものと思われまます。

この岩の洞窟は、目測で高さ約5m横6m位で、奥行きは入口から概ね約10m位で、床面積約30㎡位の広さからなり、出入口は信徒さんによつ



行者堂

て造られたと思われる板壁が設けられています。

その館の内には、右手に剣を左手には縄を持ち、炎を背にした、不動明王の石像が、そして神霊のご神体

の鏡が、その側には、弘法大師の石像2体が、更に、大日如来の北身石像がそれぞれに安置されていて、洞窟の内壁には、信徒様とみられる多くの方々が奉寄進されたと思われる寄進札が掲げられています。

この館にも、これまで何度となく山の上から雨水が流れ込み被害を被って、修復がなされたと思われる跡があります。

山岳信仰の神と佛を祀る修験道

この山岳の地に「行者様」として祀られた、つまり、山岳信仰の神と佛が合祀されていて、その歴史を関係者の皆様方からのお話で伺い知ることが出来ました。

文献によりますと、修験道は明治5年(1872)9月に明治政府の修験道廃止令によつて廃止されました。

その後は、仏教と神道とに分かれて、仏教では本山派が、天台宗と真言宗に分かれて、教団として存続しました。

その他のものは、立山(富山県)、富士(静岡県)、熊野(和歌山県)、石鎚(愛媛県)等の神社となつたとされています。



まちの駐在さん



訪問の約束もしていないのに、自宅に業者がやって来て、物品を買い取る「訪問購入に関する相談が増加しています。

悪質な訪問業者との無用なトラブルを避けるためにも、相手の言葉に惑わされることなく、冷静に対応しましょう。

【不審な業者による訪問購入に注意】

弥富駐在所：繁田京祐

訪問購入は、「特定商取引に関する法律」により、買取手続等のルールが決められていますが、ルールを守らない業者によるトラブルが多く発生しています。

警察などに寄せらえた相談を紹介すると…、

- 買い取ってもらった物品以外のものがなくなっている
- 売るつもりがなかった宝石や時計を、安い値段で買い取られた
- 契約書などの書類が一切なかった

などといったトラブルが起っています。

トラブルを防ぐためにも、買取業者をはじめ、不審な業者に対しては、

- 「う」＝上手い話を信用しない
- 「そ」＝相談する、一人で決めない
- 「つ」＝つられて返事をしない。すぐに契約しない
- 「き」＝きっぱりと断る

といった対応が大切です。

不審な業者に対して不安を感じた場合は、最寄りの警察署や消費者ホットライン（１８８番）に相談してください。



報 !!

須佐町＝徳山市 姉妹縁組提携調印式



山市と姉妹都市提携

握手をし 市長 交流を誓う両首長

調印式の様子（写真は、昭和60年5月15日発行の表紙から）

あの頃の須佐は

40年前の須佐を
振り返る…「広報すさ」

徳山市と姉妹都市提携

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元気な姿を届けたいと思います。今月号から始めました。



国道315号線の起点と終点となる、山陰の商工業都市徳山市と、山陰の農山漁村の須佐町が、昭和50年4月22日（月）に、徳山市議会議場で「姉妹縁組提携調印式」が行われました。

また、この年は、徳山市が市制施行50周年、そして須佐町合併30周年の記念の年でもあり、当時の中村町長は「歴史に残る1頁になる」と明言されていました。

生涯学習作品コーナー

【俳句】

梅花去り出番を張り切る沈丁花

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

春到来葉ワサビ採りにふるさとへ

木立をぬけてまたその先へ (8区) 鈴木ミツヨ



ころころと袋を飛び出す黒豆は

解き放たると逃げ回る (青葉台) 田村雅利

【子ども俳句】

わからないわり算教えて春の空

(育英小5年) 松原海斗

桜咲きみんなとお別れかなしいな

(育英小6年) 山本千尋

ワクワクが止まらないのは入学式

(育英小6年) 福島葉乃

そよ風にちらちら落ちるさくら花

(育英小6年) 山本ちはる

こおりもちサナに運んだお手伝い 遠い昔の寒の餅つき

※サナ＝こおりもちを乾かす棚

満開のアカシアミモザ春告げる 庭でお茶する底冷えするも

暖冬の春の冷たさ身にしみる どこか奇妙な今年の予感

トンネルの先は白銀いなかみち 屋根の残る雪は厚くて



須佐老人クラブ 美男美女会

須佐の偉人伝 大塚均

85

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

切手趣味週間 序の舞上村松園

切手趣味週間、上村松園「序の舞」髪を文金高島田に結い、大振袖に丸帯をきちんと締めた若い気品のある女性が序の舞を舞う。序の舞とは特定の曲目をさす言葉ではなく、能の舞の一楽章の名で、序の舞、破の舞、急の舞とあるうちで、最も動きが遅く静かな舞。

昭和40年4月20日発行、10円郵便切手が発行された。大塚均 54 歳時の作品です。

2024		4月 地域カレンダー				
		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 ☺=生き活き教室 学=学校・保育園行事 🏆=スポーツ関係 保セ=保健センター 👤=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド				
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30	2	3 ☺つどい会 9:30	4	5 	6
7 	8 ☺エコクラブ 9:30 ☺ピンポンクラブ 13:30 ☺小・中入学式・始業式	9 須パッチサークル 9:30	10 ☺歩こう会 8:45 須色えんぴつ画 13:30	11 	12 ☺手芸クラブ 9:30 ☺囲碁・将棋 13:30	13 
14	15 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30	16 	17 須公民館合同学級 弥放課後子ども教室 15:30	18 ☺生き活き体操 8:45	19	20
21 家庭の日	22 ☺エコクラブ 9:30 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30	23 須パッチサークル 9:30	24 須色えんぴつ画 9:30 ☺音楽療法 13:30 弥グラウンドゴルフを 楽しむ会 9:30	25	26 ☺手芸クラブ 9:30 ☺囲碁・将棋 13:30	27
28	29 ☺昭和の日 ■須佐ふれあいウォーク	30	 子どもの読書週間 (4/23~5/12)			

須佐ふれあいウォーク

参加者募集!

○日時 4月29日(昭和の日)
○行程 須佐公民館～海苔石海岸

道中、山菜などを摘み、海苔石で天ぷらにして食べます。
※お楽しみ福引もあります!



●須佐あおば勉強室
「ゴキブリ団子を作ろう!」
○とき 5月21日(火)
○ところ 須佐公民館
○材料費 300円
○持ち物 エプロン、持ち帰り
用の浅い箱
○その他 ペットボトルのふた
を使いますので、集めて須佐公
民館までお持ちください。
○申込み 5月15日(水)まで
に須佐公民館 ☎6-2310へ



伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「21日」です
★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R6.2月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	950戸	1,704人	(△8人)
弥富	217戸	403人	(△1人)
合計	1,167戸	2,107人	(△9人)
昨年比	世帯数△24人		人数△81人

編集後記

新年度が始まります。昨年度は、新型コロナウイルスも緩和され、いろんな事業ができるようになりました。また、住民の皆さんも徐々に公民館へ集まるようになりました。

しかし、少子・高齢・過疎化が進む一方で、今後の事業運営はどうなるのだろうと心配もしています。そんな中ではありますが、これからも皆さんが、公民館活動へ元氣にお越しいただきことを願います。職員一同頑張つてまいります。また、リニューアルした公民館だよりも、是非、楽しみに読んで頂きますようお願いいたします。